

殺菌消毒薬

パステンコンツ[®]

成分および含量 (本剤100ml中)

ポリアルキルポリアミノエチルグリシン塩酸塩50%液	28 g
ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル	6 g
香料	適量

包装

- 1ℓポリ器(1ケース20本入り)
- 18ℓポリ容器
- 200ℓドラム缶



製造元



株式会社 養日化学研究所

名古屋市守山区大字守山字町北140

1 パステンコンツの特徴

界面活性消毒薬はパステンコンツのような両性石鹼と陽性石鹼(逆性石鹼)に大別されます。両者の特性を比べると次表のようになります。

項目	パステンコンツ	逆性(陽性)石鹼
石炭酸係数(殺菌力)	20%濃度 94	20%濃度 90
毒性試験(LD50 mg/kg:ラット)	1,500mg/kg	342mg/kg
結核菌に対する殺菌力	人・牛・鳥型に有効	鳥型にのみ有効
有機物の影響	受けにくい	受けやすい
水の硬度及びPH変化の影響	受けにくい	受けやすい
金属イオン共存下の影響	受けにくい	受けやすい
アルカリ性物質及び陰イオン活性剤の影響	受けにくい	受けやすい

2 パステンコンツの効力

●畜舎内の浮遊細菌の殺滅

畜舎内噴霧により浮遊細菌をすみやかに減少させ、畜舎内の病原菌の排除に役立ちます。

	坪当り噴霧量	消毒前	浮遊菌数		
			噴霧後		
			1時間	24時間	48時間
パステンコンツ 1,000倍	0.5ℓ	75	0	13	45
	0.8ℓ	63	2	16	30
	1.5ℓ	70	1	4	12
逆性石鹼 500倍	0.5ℓ	86	4	32	53
	0.8ℓ	72	0	27	42
	1.5ℓ	79	3	16	22

3 パステンコンツの用法・用量

適用対象	用法・用量
畜舎・鶏舎	500～1400倍水溶液を床面、壁または天井に適量散布する。
踏込消毒槽	500～1400倍水溶液を使用する。
豚体	500～1400倍水溶液を適量噴霧する。
乳房・乳頭	1000～2800倍水溶液で清拭する。
種卵・卵殻	1000～2800倍水溶液に3～5分間浸漬する。
搾乳器具・ふ卵器具	500～1400倍水溶液にて散布、塗布または浸漬する。

4 使用上の注意

- (1) 原液や濃厚液が、皮膚、眼、飲食物、飼料、被服、幼小児のおもちゃ等に直接かからないように注意して下さい。万一、皮膚や眼に付着した場合には、水でよく洗って下さい。
- (2) 原液及び希釈液を誤飲しないように注意し、また、食品用の容器に小分けして使用又は保管しないで下さい。
- (3) 散布又は噴霧中には、マスク等をして本剤を吸い込まないように注意して下さい。
- (4) アレルギー体質者等で、発赤、掻痒感等の過敏症状が現われた場合には、直ちに使用を中止して下さい。
- (5) 有機物質等(糞、尿等の汚物、血液、血清、牛乳等)は、本剤の消毒効果を減弱させますので、水で十分に清拭又は洗浄して有機物質等を除去してから使用して下さい。
- (6) 搾乳直前の乳房・乳頭の消毒は避けて下さい。また、牛乳中に薬剤が混入しないように搾乳器具は消毒後充分に水洗して下さい。
- (7) 寒冷地で冬期に結晶が析出した場合は、加温して溶解させてからご使用下さい。
- (8) 希釈液は使用の都度調製し、調製時に原液は油脂や他の薬品類と直接接触させないで下さい。また、調製用の容器はプラスチック製又はステンレス製が望ましく、使用にあたっては十分に予洗しておいて下さい。
- (9) 他の殺虫剤や消毒剤と混用しないで下さい。
- (10) 大量の薬液が、活性汚泥法による污水处理施設には流入しないようにご注意下さい。
- (11) 幼小児の手の届かない暗所に保管して下さい。
- (12) 本剤を豚体に直接噴霧後、7日間は食用に供する目的で出荷等を行わないで下さい。